



公益信託武蔵野銀行みどりの基金 創設30周年記念誌

ひこばえ

第6集

2023年3月

公益信託武蔵野銀行みどりの基金



ご 挨拶

「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」は、1992年、武蔵野銀行創業40周年の記念事業の一つとして、「県内の自然環境保全及び創出のための活動を行う皆さまに資金面からのお手伝いを」との趣旨に基づき創設されました。

これまで300を超える自然環境保全・創出活動への助成を行い、2022年7月、おかげさまで創設30周年を迎えることができました。これもひとえに多くの皆さまからの温かいご支援ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

助成先の皆さまの活動を紹介する「ひこばえ」は、地元埼玉における自然環境保全・創出の輪が大きく広がっていくことを願い、基金創設5周年の1997年に第1集を発刊いたしました。

以来、5年毎に発刊し本基金の歩みを県民の皆さまにお伝えしてまいりましたが、創設30周年を迎えました本年度も関係者の皆さまに多大なるご協力をいただき、第6集発刊の運びとなりました。

第5集を発刊しました2018年3月以降の5年間を顧みますと、サステナビリティ、すなわち持続可能性の考え方が世界的に浸透し、政府・地方自治体はもとより、企業や教育機関などの行動がドラスティックに変容した、まさに画期的な期間でした。

今という時代を生きる私たちにとって、「カーボンニュートラル」や「ネイチャーポジティブ」の考え方は人類共通の規範であり、果たすべき未来への約束といっても過言ではありません。

このようななか、私ども武蔵野銀行では、地域とともに持続的成長を目指す「サステナビリティ経営」を標榜し、試行錯誤を重ねながらも、日々積極的に取り組んでおります。

そして、気候変動への対応と生物多様性の維持向上は、サステナビリティの土台をなす最重要課題の一つであり、本基金の果たすべき役割や存在意義の大きさを改めて認識しているところです。

加えて、私たちは2020年から3年余に亘り、新型コロナウイルス感染症という未曾有の災禍を経験

しました。毎日の行動が大きく制約されるなか、利便性の過度な追求や都市への一極集中に依存した経済・社会の脆さを肌身に感じ、自然と調和した穏やかな日常を希求していく価値観や生活様式に深い関心が寄せられることとなりました。

私たちの「ふるさと」埼玉県には、発達した交通網や優れた産業基盤、快適な住環境がある一方、緑なす秩父の山々、人々の暮らしと共存してきた雑木林が点在する武蔵野の台地・平地、県内を巡るあまたの河川などがあります。豊かな自然、そして多様な生態系は私たちの日々の営みに多くの恵みをもたらしてくれています。

こうした自然環境と生態系の恵みを損なうことなく、次世代に継承していくことは容易なことではなく、地道な活動の弛まぬ積み重ねこそが未来への架け橋となっていくと信じております。

本基金の助成先の皆さまは、地域に根差した活動に永年取組んでこられた先導者であり、私どもは深甚なる敬意を表してやみません。

今後も武蔵野銀行は本基金による助成を通じ、一先でも多くの団体の活動を支援していく所存です。

結びにあたり、今後皆さまの益々のご発展とご健勝を祈念いたしますとともに、ご多忙の折にもかかわらず、本誌編集にご協力いただきました方々に心より感謝申し上げ、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。



株式会社武蔵野銀行
頭取 長堀和正



目次

■	〈ご寄稿〉 基金創設30周年に寄せて	3
	埼玉県 知事 大野 元裕 様 『水と緑豊かな埼玉へ』 公益財団法人 サイサン環境保全基金 代表理事 川本 武彦 様 『環境保全支援をともに』 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 会長 池谷 奉文 様 『市民も企業も行政も自然を取りもどす時』	
■	公益信託武蔵野銀行みどりの基金とは	5
■	沿 革	7
■	30年間の助成先の皆さま	9
■	2018～2022年度の助成先のご紹介	13
■	サステナブルな地域社会に向けて ～武蔵野銀行の取組み～	22





水と緑豊かな埼玉へ

埼玉県知事 大野 元裕 様

「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」が創設30周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

平成4年(1992年)の創設以来、長きにわたり県内における自然環境の保全活動を支え、豊かな自然と共生する埼玉の実現に向け大きく貢献されていることに対して、改めて敬意を表します。

さて、埼玉県は秩父の山林、武蔵野の面影を残す平地林、荒川や利根川をはじめとする豊かな河川など、水と緑に彩られた豊かな自然環境に恵まれています。

県では、この豊かな自然環境を後世に残すため、平成20年に「彩の国みどりの基金」を創設し、森林整備や身近な緑の保全と創出、県民運動の展開に取り組んでまいりました。

また、令和2年には埼玉版SDGsの重点テーマの一つとして「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を位置付け、皆様とともにワンチームで「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に取り組んでいるところです。

こうした取組の原動力となっているのは、地域に根ざした県民主体の活動です。

貴行の「みどりの基金」はこれまでに延べ331団体の活動を助成し、その成果を広く発信してられました。

これらの取組が、自然環境を自ら守り育てていこうとする県民の意識を後押ししていると強く感じています。

切り株から顔をのぞかせた「ひこばえ」がやがて大きな木に成長し、ついには新しい森をつくるように、貴行の「みどりの基金」に支えられた地域の保全活動が、やがてみどり豊かな埼玉を後世に残していくための大きな力となることを確信しています。

結びに、貴行と「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」の更なる御発展並びに関係の皆様のみすますの御活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



環境保全支援とともに

公益財団法人 サイサン環境保全基金
代表理事 川本 武彦 様
(株式会社サイサン 代表取締役社長)

「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」が創設30周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴基金は、1992年に、県内の自然環境保全および創出活動を資金面から支援するため、武蔵野銀行創業40周年記念事業として創設されました。この年は、リオデジャネイロで地球環境サミットが開催され、地球環境問題が人類共通の課題とされた記念すべき年です。日本政府は、民間による環境保全活動を資金的に支援する仕組みを整備すると表明しましたが、埼玉県内では貴基金が先駆けとなりました。

私どもは、気候変動枠組条約の京都議定書が採択された翌年の1998年に、貴基金と同様に、県内における環境保全活動を支援することを目的に創設しました。環境への意識が高まりつつあった時代でした。

今日では、パリ協定のもと、先進国も発展途上国も温室効果ガス削減に取り組む時代となりました。また、生物多様性条約締約国会議も15回を数え、着実に進んでいます。

こうした中で、環境保全活動においては、次代を担う子どもたちへの働きかけが大きな課題となっています。そこで、私どもでは、小・中・高校のクラブ活動への助成メニューを設けたり、公益財団法人埼玉県生態系保護協会に委託して、「子どもたちと自然をつなぐ体験活動プロジェクト」を展開したりしています。貴基金と私どもは、「こころざし」を同じくする組織として、ともに切磋琢磨しながら活動していきたいと思っております。

結びに、貴行と貴基金のますますのご活躍、ご発展を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



市民も企業も行政も自然を取りもどす時

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会
会長 池谷 奉文 様

この度は「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」が創設30周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。また、この30年間、次世代に引き継ぐ自然環境づくりに、多大な貢献を続けてこられたことに深く敬意を表します。

昨年12月、カナダで生物多様性条約第15回締約国会議(COP15)の第2部が開催されました。「人と自然が共生する世界」を2050年の将来像とし、2030年までに生物多様性の損失を止めるだけでなく、さらに回復させていくための枠組が採択されました。中でも重要な目標が、各国が陸と海のそれぞれ30%以上を自然保護区として守る「30by30」と企業に求められる「ネイチャーポジティブ」です。

自然は私たちの生存の礎であることから、自然を永続的に守り再生するために最も大切なことは土地を買いとることです。国・県・市町村がそれぞれ対応する必要がありますが、特に市町村が重要であり、生態系ネットワーク計画の作成から土地買収まで国と県の支援が必要となります。また、それとともに市民や企業も地域の生態系ネットワークに積極的に参加することが求められています。

埼玉県では依然として、著しい自然の喪失、農業や人工照明による光害等の影響によって昆虫を激減させ、それらを食物資源とする鳥類等、様々な野生動物が大きく減少しています。そうしたことから、当協会では首都圏の水源地である秩父の森を守りつなぐ「水のトラストしよっ基金」をはじめ、武蔵野台地の雑木林、荒川沿いの湿地などを買い取り守るナショナルトラスト活動を展開しています。

今後も、環境と経済のバランスのとれた持続可能な社会の発展に寄与することを願っています。



公益信託武蔵野銀行みどりの基金とは

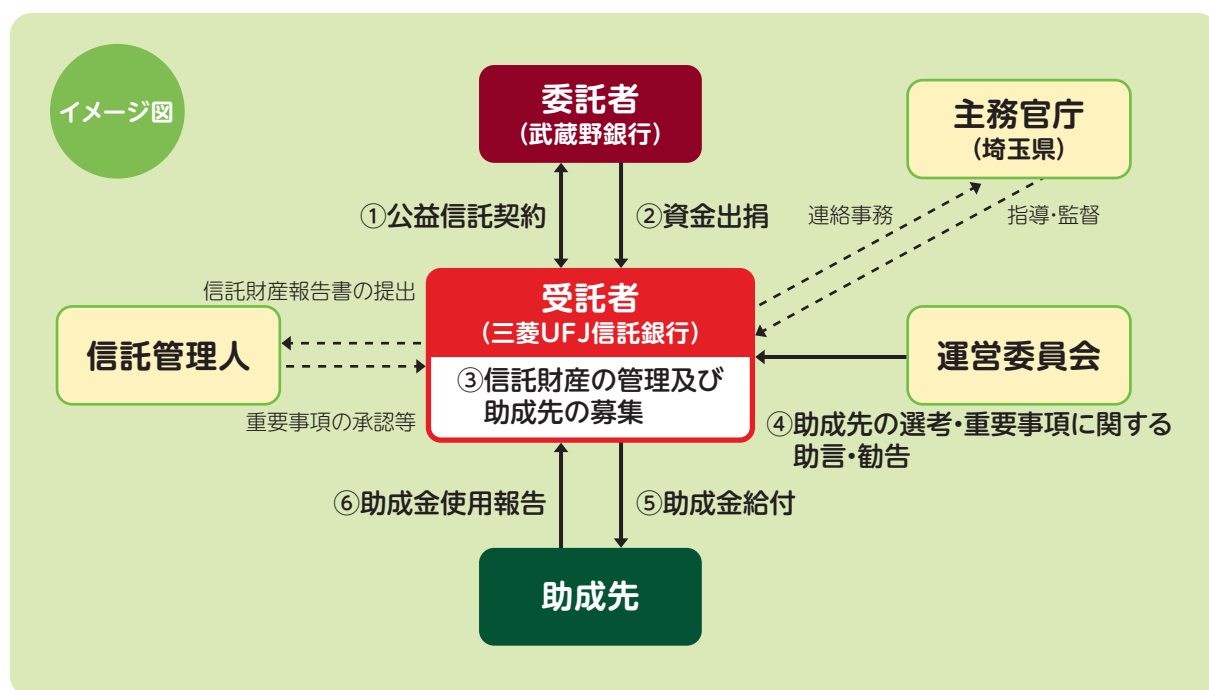
公益信託とは

公益を目的として、委託者が金銭を「公益信託ニ関スル法律」に基づき受託者に信託し、受託者がその公益目的を実現するために信託財産の管理や助成活動を行う制度です。

埼玉県内の美しく住み良い環境づくりのために

公益信託武蔵野銀行みどりの基金は、1992年7月、武蔵野銀行創業40周年記念事業の一環として、埼玉県内における自然環境保全及び創出に資する事業に対して活動資金を助成することにより、埼玉県内の美しく住み良い環境づくりに貢献することを目的として創設されました。

創 設	1992年7月
信 託 財 産	金額 1億7千3百万円(2022年7月末現在)
目 的	埼玉県内における自然環境の保全及び創出に資する活動に対する助成を行い、もって美しく住み良い環境づくりに貢献する。
委 託 者	株式会社武蔵野銀行
受 託 者	三菱UFJ信託銀行株式会社
主 務 官 庁	埼玉県
運 営 委 員	5名
信 託 管 理 人	1名



毎年4月に助成金を給付

助成先の募集は、例年10月1日(土日祝日の場合は翌営業日)から12月中旬まで行われます。その後、2月に開催される運営委員会にて厳正な審査が行われ、助成先と助成金額が決定し、4月下旬に助成金の給付が行われます。



2022年度助成金贈呈式



助成先の募集

応募資格	埼玉県内の営利を目的としない法人・団体もしくは個人 なお、原則として、連続して3年間助成を受けた団体等は申請できません。
助成対象事業	埼玉県内の自然環境保全及び創出に資する活動 ①自然環境の保全及び創出に資する事業 ②自然環境の保全及び創出のために必要と認められる普及啓発に関する事業 ③自然環境の保全及び創出活動を促進するために必要な調査研究
助成金額	1給付先につき、必要金額の範囲内でかつ100万円以下 (ただし、飲食代金・保険費用・謝礼金は基本的に助成金対象外となります。また、選考審査により、その他の経費項目も助成対象外となる場合があります。)
募集期間	10月1日(土日祝日の場合は翌営業日)～12月中旬
応募書類	助成金給付申請書 募集要項・応募書類は、武蔵野銀行の営業店窓口にて配布しております。 なお、武蔵野銀行ホームページにも掲載しております。 https://www.musashinobank.co.jp
お問合せ先	[基金委託者] 武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-8 ☎ 048-641-6111(代表) [基金受託者] 三菱UFJ信託銀行 リテール受託業務部 公益信託課 〒164-0001 東京都中野区中野3-36-16 ☎ 0120-622372(フリーダイヤル)
審査	本基金運営委員会の審議により、給付先と給付金額を決定
給付予定	4月下旬

3つの助成対象事業

1

自然環境の保全及び創出に資する事業

- ・動植物保護育成のための自然環境の保全及び創出活動
(植物、野鳥、獣類、魚類、昆虫などの動物の保護育成)
- ・特異地質、地形等の保全活動
- ・自然環境の保全及び創出に必要と認められる美化、整備活動
(単なる園芸、外来種等の植生は除く)
- ・その他自然環境の保全及び創出活動

公益信託武蔵野銀行みどりの基金

2

自然環境の保全及び創出のために必要と認められる普及啓発に関する事業

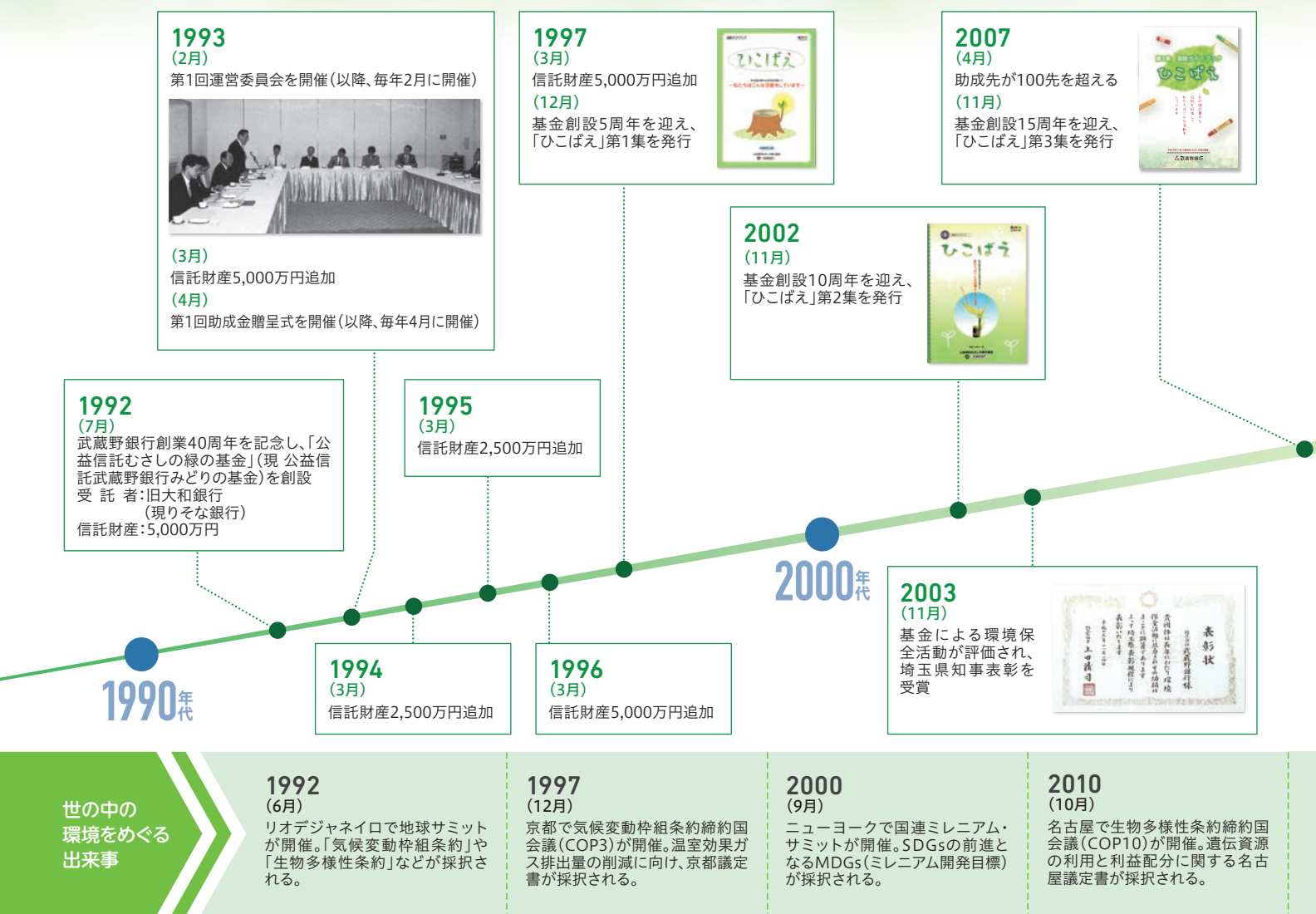
- ・セミナー・自然観察会などの開催
- ・自然環境保全及び創出を題材としたキャンペーン活動
- ・自然環境保全及び創出に関する冊子等の発行
(有償のものは除く)
- ・指導者の研修、養成のための活動
- ・その他自然環境保全及び創出のために必要な普及啓発活動

3

自然環境の保全及び創出活動を促進するために必要な調査研究

- ・自然環境の調査研究(動植物の生態調査など)
- ・調査研究のための資料、文献収集
- ・調査研究会の開催
- ・その他自然環境の保全及び創出活動を促進するための調査研究

沿革



助成実績

おかげさまで創設以来、毎年多くの団体の皆さまからご応募いただき、30年間で延べ331先の皆さまに約7,650万円の助成を行っております。

30年間の助成実績(累計)

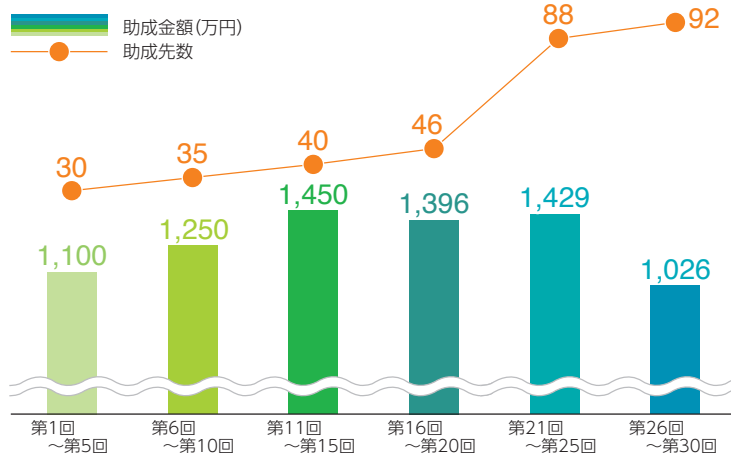
助成先数

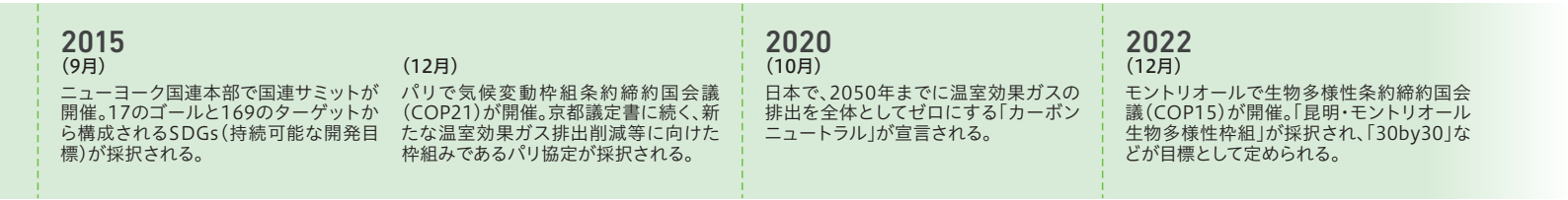
331
先

助成総額

約7,650
万円

5年ごとの助成先数・助成金額の推移





事業別助成実績(累計)

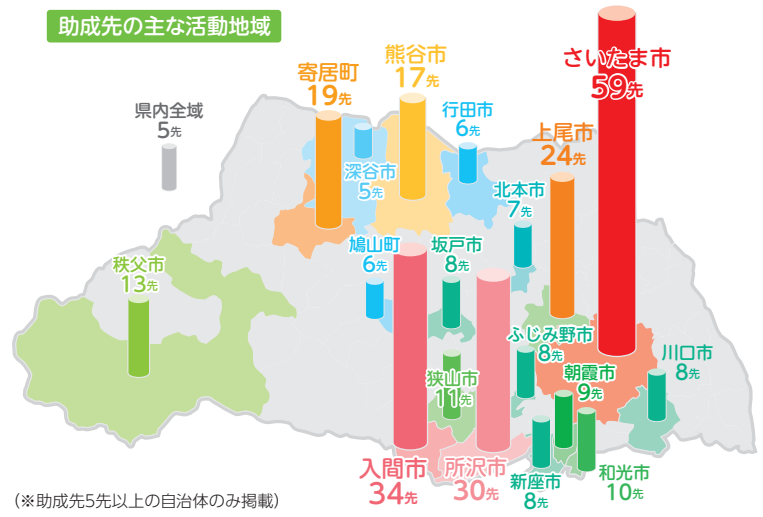
① 自然環境の保全及び創出に資する事業 >> **207先**

② 自然環境の保全及び創出のために必要と認められる普及啓発に関する事業 >> **150先**

③ 自然環境の保全及び創出活動を促進するための調査研究 >> **74先**

(※複数の事業に助成したケースもあり)

助成先の主な活動地域



(※助成先5先以上の自治体のみ掲載)



30年間の助成先の皆さま

助成年度	助成先名
1993年度 (3先)	埼玉県緑の推進員連絡協議会
	自然観察指導員埼玉県連絡会 大宮フレンド
	寄居町にトンボ公園を作る会
1994年度 (7先)	朝霞の自然を観る会
	黒浜沼周辺の自然を大切に作る会
	埼玉県ホタル保全連絡協議会
	埼玉県緑の推進員連絡協議会
	不老川をきれいに作る会
	与野の水と緑を考える集い
	寄居町にトンボ公園を作る会
1995年度 (6先)	ウェットランド荒沢・川田谷マップ作成委員会
	大宮市立芝川小学校(現 さいたま市立芝川小学校)
	自然観察大宮フレンド
	北本雑木林の会
	熊谷市久下ムサシミヨを守る会
	吉田グリーンクラブ
1996年度 (6先)	北本雑木林の会
	グラウンドワーク「おおたかの森トラスト」
	埼玉昆虫談話会
	秩父の環境を考える会
	不老川をきれいに作る会
1997年度 (8先)	武蔵丘陵森林公園の自然を考える会
	心のこみち「きざぎ」
	こども自然クラブ
	自然観察大宮フレンド
	秩父の環境を考える会
	鳩ヶ谷にトンボ公園を作る会
	名水風布川・日本水保存会
	与野の水と緑を考える集い
1998年度 (6先)	寄居町にトンボ公園を作る会
	朝霞湿生植物保護の会
	北本にトンボ公園を作る会
	小手指の森に親しむ会
	埼玉昆虫談話会
	八国山の自然に親しみつつ守る会
1999年度 (7先)	鳩ヶ谷にトンボ公園を作る会
	綾瀬花の会
	エコシティ志木
	小手指の森に親しむ会
	自然観察大宮フレンド
	自然の会・オオムラサキ
	若松小学校周辺の環境を考える会

助成年度	助成先名
2000年度 (7先)	よしみ町の自然をたのしむ会
	川本町の風と緑と水を守る会
	小手指の森に親しむ会
	砂川堀流域川づくり懇親会
	玉川・里山もりんど
	よしみ町の自然をたのしむ会
	与野の水と緑を考える集い
2001年度 (7先)	早稲田大学 自然環境調査室
	上尾・まちづくりの会
	学校法人佐藤栄学園 栄東高等学校 理科研究部
	自然っ子クラブ
	ソクラテスの会
	秩父の環境を考える会
2002年度 (8先)	原市沼を愛する会
	百年の森づくりの会
	大中落環境保全会
	自然っ子クラブ
	新河岸川水系水環境連絡会
2003年度 (9先)	NPO法人 21世紀まちづくりの会 (NPO鳩山)
	花と緑の会
	氷川の里ほたるの会
	日高市環境ボランティア
	百年の森づくりの会
	小川町里山クラブ “you-you”
	グラウンドワーク「里の杜」実行委員会
2004年度 (6先)	さいたま市立常盤小学校
	新座キツネノカミソリ保存会
	NPO法人 西川木楽会
	別府沼を考える会
	NPO法人 むさしの里山研究会
	ヤマガラくらぶ
2005年度 (7先)	与野の水と緑を考える集い
	荒川水系溪流保存会
	加治丘陵どんぐりの会
	高麗川ふるさとの会
	NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ
2006年度 (7先)	NPO法人 西川木楽会
	花と緑の会
	NPO法人 加治丘陵山林管理グループ
	鴻巣市立鴻巣南小学校
2007年度 (7先)	NPO法人 森林活用研究会こぴす
	どんぐり山を愛する会

(敬称略)

助成年度	助成先名
2006年度 (8先)	新座キツネノカミソリ保存会
	ふるさと創生クラブ
	寄居町カタクリを守る会
	荒川を撮る会
	さいたまみどり愛護会
	三貫清水の会
	NPO法人 秩父の環境を考える会
	環境NGO ちびっこ探検隊
2007年度 (10先)	百年の森づくりの会
	まちづくり協議会クローバー
	柳瀬川の最上流をきれいにする会
	東川を愛する会
	エコネット塚本田んぼ
	カケス里山会
	くまがや地域通貨研究会
	自然っ子クラブ
2008年度 (6先)	新座キツネノカミソリ保存会
	錦乃原櫻草保存会
	やまおやじの会
	ヤマガラくらぶ
	与野の水と緑を考える集い
	エコ田んぼビオトープNORA
	NPO法人 加治丘陵山林管理グループ
	埼玉県立大宮高等学校 植林事業
2009年度 (10先)	NPO法人 里山環境プロジェクト・はとやま
	NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会
	比企の川づくり協議会
	越生町職員互助会
	上仏子里山会
	川口市立在家小学校 自然科学クラブ(現在家小エコクラブ)
	川越 樹の会
	NPO法人 グリーンフォレストジャパン
2010年度 (9先)	自然っ子クラブ
	すわ・氷川森の会
	利根川の自然を守る会
	NPO法人 むさしの里山研究会
	寄居町カタクリを守る会
	NPO法人 荒川の自然を守る会
	加治丘陵につつじを植え戻す会
	金子の森 山桜会
2010年度 (9先)	金子山いろりあんサークル
	さいたま市立芝川小学校

助成年度	助成先名
2011年度 (13先)	桜区のまちづくりを進める会
	三貫清水の会
	ヤマガラくらぶ
	和田みどりを守る会
	上尾市立上尾小学校
	NPO法人 荒川藁の会
	古代蓮の里 ホタルの会
	白子・大坂湧水林保全の会
2012年度 (8先)	森遊クラブ
	だいこんの会
	藤寿会
	原市みどりの再生ボランティアの会
	ぶつし里山会
	別府沼を考える会
	“未来に残そう” 谷田の泉を守る会
	谷田の泉クラブ
2013年度 (16先)	和光自然環境を守る会
	さって市民環境ネット
	NPO法人 自然観察さいたまフレンド
	芝川第一調節池環境管理パートナーズ
	新座キツネノカミソリ保存会
	原市みどりの再生ボランティアの会
	NPO法人 比企自然学校
	NPO法人 むさしの里山研究会
2013年度 (16先)	和光自然環境を守る会
	NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川
	加治丘陵につつじを植え戻す会
	加治丘陵遊々クラブ
	上仏子里山会
	NPO法人 北本雑木林の会
	グリーン・フォレスト・ネットワーク所沢
	埼玉県立浦和第一女子高等学校 麗風会
2013年度 (16先)	桜区のまちづくりを進める会
	舟運・ふじみんの郷
	NPO法人 秩父百年の森
	NPO法人 はとやま環境フォーラム
	原市みどりの再生ボランティアの会
	みどりの会(若松小学校周辺の環境を考える会)
	柳瀬川の最上流をきれいにする会
	よしみ町の自然を楽しむ会
2013年度 (16先)	寄居町かたくりを守る会



30年間の助成先の皆さま

助成年度	助成先名
2014年度 (21先)	NPO法人 荒川藁の会
	エコ田んぼNORA
	忍川環境を見守る会
	加治丘陵につつじを植え戻す会
	金子の森山桜会
	NPO法人 くまがや地域通貨研究会
	糎谷八幡湿地保存会
	高麗川ふるさとの会
	埼玉県立浦和第一女子高等学校 麗風会
	舟運・ふじみんの郷
	白子川と流域の水環境を良くする会
	新座キツネノカミソリ保存会
	樋春北ほたる保存会
	ぶつし里山会
	NPO法人 ふるさと創生クラブ
	別府沼を考える会
	柳瀬川の最上流をきれいにする会
	ヤマガラくらぶ
	与野・水と緑の会
	寄居町かたくりを守る会
	和田みどりを守る会
2015年度 (18先)	あさか環境市民会議
	東川を愛する会
	NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川
	おおたかの森トラスト
	NPO法人 くまがや地域通貨研究会
	県活市民講師塾交流会
	糎谷八幡湿地保存会
	埼玉昆虫談話会
	桜区のまちづくりを進める会
	笹目川の環境を守る会
	NPO法人 自然観察さいたまフレンド
	白子川と流域の水環境を良くする会
	新河岸川水系水環境連絡会
	ところざわ倶楽部 地域の自然グループ
	原市みどりの再生ボランティアの会
	NPO法人 むさしの里山研究会
	与野・水と緑の会
	寄居町にトンボ公園を作る会
2016年度 (16先)	エコ田んぼNORA
	NPO法人 エコ. エコ
	金子山いろりあん

助成年度	助成先名
2017年度 (17先)	NPO法人 熊谷市ほたるを保護する会
	グリーン・フォレスト・ネットワーク所沢
	県活市民講師塾交流会
	高麗川ふるさとの会
	埼玉昆虫談話会
	さって市民環境ネット
	学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部
	NPO法人 秩父の環境を考える会
	新座キツネノカミソリ保存会
	南側用水路清流プロジェクト
	元荒川をきれいにする会
	柳瀬川の最上流をきれいにする会
	与野・水と緑の会
	あさか環境市民会議
	NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川
	おおたかの森トラスト
	加治丘陵につつじを植え戻す会
2018年度 (20先)	NPO法人 熊谷市ほたるを保護する会
	県活市民講師塾交流会
	江南の藤保存会
	高麗川ふるさとの会
	笹目川の環境を守る会
	学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部
	白子川と流域の水環境を良くする会
	新河岸川水系水環境連絡会
	NPO法人 秩父の環境を考える会
	原市みどりの再生ボランティアの会
	ふかや緑の王国ボランティア
	水野の森 里山の会
	和田みどりを守る会
	NPO法人 エコ. エコ
	NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川
	大台東緑化クラブ(現 大台東美化クラブ)
	柿沼堀を守る会
	加治丘陵につつじを植え戻す会
2019年度 (20先)	金子山いろりあん
	認定NPO法人 熊谷市ほたるを保護する会
	高麗川ふるさとの会
	埼玉県生態系保護協会 加須支部
	笹目川の環境を守る会
2020年度 (16先)	新河岸川水系水環境連絡会
	NPO法人 秩父の環境を考える会

(敬称略)

助成年度	助成先名
2019年度 (18先)	新座キツネノカミソリ保存会
	NPO法人 はとやま環境フォーラム
	原市みどりの再生ボランティアの会
	ふかや緑の王国ボランティア
	別府沼を考える会
	未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会
	与野・水と緑の会
	寄居町かたくりを守る会
	エコ田んぼNORA
	加治丘陵につつじを植え戻す会
	NPO法人 くまがや地域通貨研究会
	埼玉県生態系保護協会 加須支部
	学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部
	笹目川の環境を守る会
	NPO法人 自然環境観察会
	NPO法人 ジョイライフさやま
	白子川と流域の水環境を良くする会
	新河岸川水系水環境連絡会
2020年度 (18先)	智光山・野草園の会
	新座キツネノカミソリ保存会
	原市みどりの再生ボランティアの会
	NPO法人 ふるさと創生クラブ
	みどりの会 (若松小学校周辺の環境を考える会)
	ヤマガラくらぶ
	与野・水と緑の会
	和光自然環境を守る会
	NPO法人 エコ. エコ
	エコ田んぼNORA
	大台東緑化クラブ (現 大台東美化クラブ)
	加治丘陵遊々クラブ
	金子山いろりあん
	NPO法人 くまがや地域通貨研究会
	高麗川ふるさとの会
	学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部
	NPO法人 自然環境観察会
	NPO法人 ジョイライフさやま
	智光山・野草園の会
	NPO法人 秩父百年の森
	ふるさと上谷沼 地域創造塾 (現 上谷沼周辺の自然を守る会)
	NPO法人 ふるさと創生クラブ
	宮代水と緑のネットワーク
	未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会

助成年度	助成先名
2021年度 (19先)	与野・水と緑の会
	寄居町かたくりを守る会
	NPO法人 荒川の自然を守る会
	エコ田んぼNORA
	NPO法人 エコ. エコ
	おおたかの森トラスト
	加治丘陵につつじを植え戻す会
	加治丘陵遊々クラブ
	NPO法人 くまがや地域通貨研究会
	高麗川ふるさとの会
	笹目川の環境を守る会
	学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部
	NPO法人 自然環境観察会
	白子川と流域の水環境を良くする会
	NPO法人 ジョイライフさやま
	智光山・野草園の会
	ところざわ地域の自然グループ
	NPO法人 はとやま環境フォーラム
	東松山市立市の川小学校 希少野生生物保護増殖プロジェクト
	ふるさと上谷沼 地域創造塾 (現 上谷沼周辺の自然を守る会)
2022年度 (17先)	未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会
	綾瀬川を愛する会
	NPO 法人 荒川の自然を守る会
	NPO 法人 エコ. エコ
	OS ふじの森の会
	大台東緑化クラブ (現 大台東美化クラブ)
	風間 健太郎
	加治丘陵につつじを植え戻す会
	加治丘陵遊々クラブ
	NPO 法人 北本雑木林の会
	高麗川ふるさとの会
	笹目川の環境を守る会
	白子川と流域の水環境を良くする会
	ツキノワの会
	NPO 法人 つるがしま里山サポートクラブ
	遠ノ平山棚田を守る会
	NPO 法人 はとやま環境フォーラム
	未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会

2018～2022年度の助成先のご紹介

(五十音順にて紹介しています)

綾瀬川を愛する会

綾瀬川は高度成長期に工場の排水や生ごみ・粗大ごみに埋まり、10年連続で第一級河川汚濁全国ワースト1位となりました。その際に本会を立ち上げ、川の清掃から始まり、綾瀬の森自然維持区を創りました。そして、2021年には自然と健康を結ぶ「綾瀬川素足遊歩道（アーシングロード）」を創り、2022年10月には川口市立戸塚公民館でウエルカム・コンサートと共に「綾瀬川素足遊歩道シンポジウム」を開催しました。

活動地域 川口市



県および市共同の清掃にて収集したゴミ

NPO法人 荒川の自然を守る会

子どもたちの未来に豊かな自然環境を残そうと立ち上がった団体です。現在では多くの賛同者から成り、荒川流域の「三ツ又沼ビオトープ」を中心に活動し、官民協働で自然保全に取り組んでいます。

活動地域 上尾市



三ツ又沼での生物調査

上谷沼周辺の自然を守る会(旧 ふるさと上谷沼 地域創造塾)

水と緑の空間である上谷沼調節池とその周辺を「私たちのまち」と考え、生息する動植物を守り、自信をもって次世代に渡せる地域づくりを目指しています。夏の外来種抜きや近隣小中学校への出前授業、自然観察も行っています。

活動地域 さいたま市南区・川口市



地元の小中学生と一緒に外来植物を抜いて草原を守ります

エコ田んぼNORA

有機・無農薬、手作業による田植え、稲刈りなど伝統的農業を継承して生物多様性あふれる水田の保全に努めるとともに、地域や学校に開放し、農業と自然の豊かさを学び合いながら地域コミュニティづくりを目指しています。

活動地域 ふじみ野市



秋の日差しで干した稲の脱穀風景

NPO法人 エコ.エコ

生物多様性の保たれる空間を広げる活動を続け、今年で10年目に入りました。希少な動植物や多くの生きものたちが生きているマルコ（湿地）を、いい形で次世代に手渡すことがメンバーたちの夢です。

活動地域 さいたま市緑区



七代目「龍神・マルコ」開眼式

NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川

1989年、荒川支流の江川において貴重な自然が残存しているのを知り、トラストを発足させました。そして、自然環境の保全・再生活動を行い、荒川の原風景を再現しました。今後も、荒川中流域のサクラソウネットワーク実現に向けて活動を続けていきます。

活動地域 上尾市



荒川原風景を市民で再現しました

OSふじの森の会

2015年より市所有の雑木林にて間伐や下草刈り、落葉掃きや散策路整備、希少植物の観察や保全等を進めており、明るい森になってきました。近隣住民同士の交流も進み、里山づくりを楽しみながら活動しています。

活動地域 所沢市



間伐材を利用した散策路の階段整備

大台東美化クラブ (旧 大台東緑化クラブ)

「笑顔あふれる地域づくり」をモットーに、地域内の水路及び大台ふれあい広場の除草・植栽及び清掃作業を行っています。ふれあい広場が子どもから高齢者までが集える地域の活動の拠点となるべく取組んでいます。

活動地域 深谷市



ふれあい広場西側の水路風景

おおたかの森トラスト

武蔵野の平地林を「おおたかの森」と名付け、8か所の樹林を募金により購入するとともに、地権者から森をお借りし、行政と連携をしながら自然再生に取り組んでいます。また、小学校やこどもエコクラブでの環境教育を通じて、未来の担い手の育成に取り組んでいます。こうした環境保全に対する約30年の功績が認められ、令和4年秋に天皇陛下より緑綬褒章を賜りました。

活動地域 所沢市・狭山市・川越市・三芳町・入間市



所沢市役所での緑綬褒章贈呈式
(左：藤本正人 市長、右：中村俊明 副市長)

柿沼堀を守る会

古い農業用水路を整備し、自生している半夏生などの希少植物の育成と月2回の除草・清掃を実施しています。11月に開催している親子マス釣り大会を通して地域の交流を深めています。

活動地域 熊谷市



親子マス釣り大会

2018～2022年度の助成先のご紹介

風間 健太郎

早稲田大学・野生動物生態学研究室と連携し、所沢市やその周辺の自然環境の調査・研究および保全活動を行っています。身近な自然の中に生息する生き物のことを専門的に調べることで、野生動物が生きていくうえで必要な生息地を守っていきたいと考え、活動をしています。

活動地域 所沢市



カワネズミの生息確認調査

加治丘陵につつじを植え戻す会

入間茶畑を一望する加治丘陵里山の緑豊かな環境保全に努めており、主に間伐や下草刈り、植林を実施しています。四季折々の野鳥の声を聴きながら、山つつじの赤・ミツバつつじの紫・ゆりの白を眺めながら、皆さんに散歩道を楽しんで頂いています。

活動地域 入間市



散歩道沿いに休憩用ベンチ作り

加治丘陵遊々クラブ

森林保全活動で得た12年間の「経験」や「技能」を多くの方に伝えるため「きこり体験会」を開催しています。入間市の広報誌などへの掲載の効果もあり、予想以上に一般の方が森林の保全作業に関心があることが分かりました。この体験会を通して、新しく入会した会員も多く、今後も継続発展させて行きたいと考えています。

活動地域 入間市



平均年齢67歳の面々です

NPO法人 北本雑木林の会

JR高崎線を桶川市から北本市に入ると約1kmに亘り緑のトンネルが続きます。ここが北本市のシンボル「北本中央緑地」で、活動の拠点です。私たちが保全活動を行うこの緑地は子どもたちの遊び場・散策コース・イベント会場など、市民の憩いの場となっています。

活動地域 北本市



中学生による体験腐葉土づくり

認定・指定NPO法人 熊谷市ほたるを保護する会

熊谷江南に自生するゲンジボタルが、夜8時過ぎに沢山飛び交う5月下旬から6月中旬まで、ホタル観賞案内所を20日間開設しています。また、新たに江南中学校隣の3,500㎡のクヌギ林に遊歩道やベンチ等を整備しました。乳幼児も自然に親しめる、昔ながらのホタルの里山にしています。

活動地域 熊谷市



乳幼児から楽しめるホタルの里山づくり

NPO法人 くまがや地域通貨研究会

「まちに良いこと」参加者に、協力店で利用できる「くまがやありがとう券」を差し上げています。ゴミ拾い&まち歩き「スカベンジャー」や、生物多様性を考える「イエローハンカチーフ・プロジェクト」等を実施中です。

活動地域 熊谷市



外来種を用いた草木染（児童養護施設にて）

高麗川ふるさとの会

今年は活動20周年になります。浅羽ビオトープの整備初期は水中でメタンガスが発生し、ゴミが大量に流れ込んでいる状態でしたが、清掃活動が続けることで水質は本流と同じまでに回復し、多くの小魚も棲息するようになりました。

活動地域 坂戸市



水中作業用手袋を用いた水草の除去

埼玉県生態系保護協会 加須支部

加須市大利根地域にある「お花が池」の水辺環境保護活動を中心に、市内での自然観察会や「はなさき水上公園」「さいたま水族館」などのイベントにも協力し、活動を広めています。

活動地域 加須市



外来種捕獲大作戦 がんばるぞ！

笹目川的环境を守る会

地域の生活に潤いをもたらす水辺に貴重な自然環境を取り戻し、住みよいまちづくりの推進に寄与するため、河川の清掃、水質の調査、水辺の生きもの調べなど、自然観察活動を行ない、河川環境の保全の重要性を訴えています。

活動地域 さいたま市南区 他



笹目川河畔の清掃活動

学校法人佐藤栄学園 栄東中学・高等学校 理科研究部

調査対象の芝川についての最新の成果を、『埼玉県立川の博物館紀要21号』に掲載いただき、博物館のHPで閲覧が可能です。地震の研究（県内に残る1923年関東地震の記録調査）や、物理・化学・生物の各分野の個人研究も、地道に進めています。

活動地域 さいたま市（見沼区等）・上尾市・川口市



芝川砂橋周辺の清掃活動（2020年2月）

2018～2022年度の助成先のご紹介

NPO法人 自然環境観察会

県内の自然環境の観察・保全・研究会・環境教育を行い、会員の自然観の向上を目指しています。庭や農地に設けた生態補償地（緑のオアシス）の昆虫類や鳥類の調査を定例で行なっているほか、夏休みの昆虫採集と標本作りの講習会や、秋冬には年次展示・講習会を行っています。

活動地域 上尾市



生態補償地の定例観察会

NPO法人 ジョイライフさやま

環境への意識向上と豊かな自然を大切に作る心を養い、自然環境が織りなす未来を子供たちに継承するために、自然を破壊する不法投棄を無くし、緑多き環境を作ることに取組んでいます。劣化した樹林の回復と持続可能な樹林の保全をしながら、荒廃した環境課題解決を図り、人と人とのつながりによる地域環境の創出を図って行きます。

活動地域 狭山市



「環境の未来と夢を子供たちとともに」
水辺周辺整備による自然の森あそび

白子川と流域の水環境を良くする会

当会の活動拠点は、白子川・芝屋橋に設置された親水公園「わくわくパーク」です。毎月の川掃除、5月の稚鮎の放流、水質検査や水生生物調査などの活動をしています。また、水中を泳ぐアユの様子を動画配信しています。

活動地域 和光市



わくわくパークでの河川清掃

新河岸川水系水環境連絡会

当会は、2017年に国土交通省関東地方整備局より「河川協力団体」に指定されました。毎年実施の「身近な川の一斉調査」は2022年の6月で33回目を迎え、流域28河川の調査定点230地点を市民団体25団体で実施、調査結果は毎年参加した流域の市民団体へ「調査報告書」と「水質・里川マップ」を併せて提供しています。近年は川に流入して海へ流れる「プラスチック製ごみ」の削減活動と併せて、若い世代へ広げる活動をしています。

活動地域 埼玉県・東京都の新河岸川流域及び荒川下流域



県立高校化学部の生徒の協力によりバックテスト
試薬等で水質分析測定をしてもらいました

智光山・野草園の会

市内で消滅しつつある自生植物の保護・育成を主な目的とし、週1回、除草、樹木の剪定、堆肥作りなどを行っています。また、智光山公園管理事務所の依頼で、公園内のサイハイランなど希少植物の保護活動も行っています。

活動地域 狭山市



ツリフネソウなどの名札を作成中

NPO法人 秩父の環境を考える会

私たちを取巻く自然環境について、共に学び活動することを目的としています。奥秩父に生息する希少動植物の調査とその保護、荒川のゴミ拾いや昆虫の森づくり、市民への開放講座や学校への出前授業など幅広く活動しています。

活動地域 秩父市



川だいき！釣りや川の生き物

NPO法人 秩父百年の森

荒川源流域の秩父にて、森でカエデなどの広葉樹の種を集め、畑で育て、大きくなった苗を植樹して針広混交林の持続可能な森づくりを行っています。山、里、街の連携によって豊かな森の復活と地域の活性化を目指しています。

活動地域 秩父市



杉の間伐地で子どもたちと植樹

ツキノワの会

「野生動物と人との共存を考える」を会のモットーに掲げ、自然観察会や自然体験イベント、講演会などを開催しています。秩父では、実のなる豊かな森を再生させるため、市民ボランティアの力で広葉樹の森づくりに取り組んでいます。

活動地域 秩父市



植林地のシンボルツリー（山栗）

NPO法人 つるがしま里山サポートクラブ

市内に残された里山を次世代へ継承する目的で、2003年に活動を開始しました。「市民の森」の維持管理や自然体験活動を通じて、子どもたちや市民に自然の大切さを感じてもらうために、学童クラブや小学校・保育園の自然体験支援や、竹細工・門松づくりに取り組んでいます。

活動地域 鶴ヶ島市



子どもたちの竹細工づくり

遠ノ平山棚田を守る会

遠ノ平山内洞の棚田は、40年以上手入れされ美しい景観が保たれている、蜷の里として知られています。私たちはこの棚田の下流域にある休耕田を復元し、里地里山一体としての原風景を残したいと、生態系に配慮した稲作に取り組んでいます。

活動地域 小川町



大勢で力を合わせた稲刈りの風景

2018～2022年度の助成先のご紹介

ところざわ地域の自然グループ

「さいたま緑の森博物館」の所沢市分は20.5haあります（入間市分は60ha）。私たちは所沢市分調査地①（面積3,000㎡）を中心に雑木林の再生のための調査と作業を行っています。また「トトロの森」や「カルチャーパーク」「三富横山園」などとともに所沢のみどりを守り、残していきます。

活動地域 所沢市



調査地①の刈り払いを行いました

NPO法人 はとやま環境フォーラム

鳩山町とその周辺地域の良好な自然・生活環境の保全を目的に、環境監視・環境保全・自然観察・文化創造活動を行い、近年は、鳩山町北部地区の「熊井の森」保全のためのトラスト活動に力点を置いて活動しています。

活動地域 鳩山町



熊井の森トラスト地の野鳥観察舎

原市みどりの再生ボランティアの会

当会は毎月第2・第4土曜日の午前中を中心に原市地区の雑木林の保全活動を行っています。下草を刈り、古木を伐採し、若木を植林して、雑木林の若返りを図っており、10年後を楽しみにしています。

活動地域 上尾市

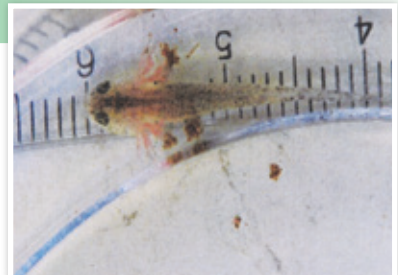


高校と小学生による植林作業

東松山市立市の川小学校 希少野生生物保護増殖プロジェクト

2018年度より、希少動植物のサワトラノオやトウキョウサンショウウオの保護増殖に取り組んでいます。5、6年生が毎日の水やりや餌やりをし、埼玉県こども動物自然公園や川の博物館等と連携しながら環境保護活動を行っています。

活動地域 東松山市



埼玉県こども動物自然公園からトウキョウサンショウウオの卵を預かり、校内で飼育しています

ふかや緑の王国ボランティア

ふかや緑の王国を活動拠点に「市民がつくり 市民が守り育てる 市民の森」をスローガンに活動を行っています。深谷市との協働による王国内の管理をはじめ、梅まつりや森の音楽祭などの四季折々のイベントや各種ガーデニング教室等の開催など、年間を通して様々な活動を行っています。

活動地域 深谷市



「第31回全国花のまちづくりコンクール」
国土交通大臣賞受賞時の記念写真

NPO法人 ふるさと創生クラブ

地域の子どもの安全と健全育成、高齢化社会に対応する地域福祉、良い環境を次世代につなぐための自然保護と環境改善など、活動は多岐にわたっており、全てボランティアです。自然保護・青少年育成・安全・福祉の各委員会で活動を進めています。

活動地域 行田市



ビオトープを利用した魚釣り教室

別府沼を考える会

湿性植物の保護・復元のため、別府沼において水質浄化活動や湿性地の草刈りなどに取組んでおり、熊谷市と合同で観察会なども実施しています。また、ビオトープ池は小・中学生の環境学習・総合学習の場としても活用しています。

活動地域 熊谷市



刈った葦を中学生と一緒に清掃

みどりの会（若松小学校周辺の環境を考える会）

会が発足して20年「人とのつながりを大切にしたい」との思いで活動してまいりました。主に地域の小中学校に関わる緑化作業を中心に活動しています。今後も地域に貢献できるような活動に取り組んでまいります。

活動地域 所沢市



若松小学校環境整備（下草刈り）

宮代水と緑のネットワーク

「新しい村」のホッツケで里山自然環境の保全活動を行っています。一つ目は田んぼの学校として、田植・稲刈体験をしています。二つ目は自然保護として、「ホタルの里親の会」や「宮代野草クラブ」の開催や、蝶の繁殖を行っています。三つ目は環境学習として、スーパーナイトハイクとホッツケの生き物調査を行っています。

活動地域 宮代町



田んぼの学校の田植え体験

未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会

首都近郊20km～30kmに広がる見沼たんぼ地域の環境・歴史・文化の魅力と価値を、100年後の子どもたちに伝え遺す活動をしています。

活動地域 さいたま市（見沼区・北区・大宮区・浦和区・緑区）
川口市



見沼農業応援季刊誌「見沼・旬彩」

2018～2022年度の助成先のご紹介

ヤマガラくらぶ

地元の里山である加治丘陵を、生き物にとってやさしく元気な森にしようと集まったボランティアグループです。毎月第一日曜日を基本として、活動地の間伐・下刈り・散策路整備などを行っています。

活動地域 入間市

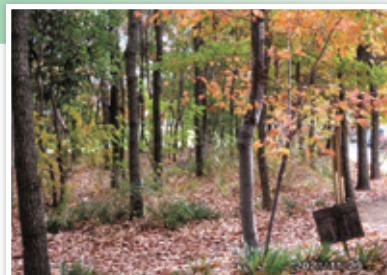


間伐材を運び出しているところ

与野・水と緑の会

地域の水と緑を生かしたまちづくりを目的としています。主な活動は、市民参加のドングリの森づくり、年二回の河川水質調査、高沼用水めぐりなどです。また、水環境ネットワークや荒川流域ネットワークなどにより関係他団体との連携を図っています。

活動地域 さいたま市中央区



ドングリの森風景（ドングリから育てて16年目です）

寄居町かたくりを守る会

春の訪れを告げる可憐な花であるカタクリは、町の花です。手をかけて守らないと消えてしまうかもしれない儚さと花の美しさに魅せられて、30年も保護活動を続けています。下刈りや種とりで群生地を保護し、寄居の自然とカタクリの魅力を伝えていきたいと考えています。コロナ禍が収束し、観察会を実施する日を楽しみにしています。

活動地域 寄居町



かたくり観察会の風景

和光自然環境を守る会

当会は“生き物と人と風景が溶け合う越戸川”を目指して、月2回のゴミ拾い等定例美化活動に加え、環境啓発のため川まつりや夏休みジャブジャブ大会等のイベント開催、近隣小学校の総合学習の支援等を行っています。

活動地域 和光市



越戸川で総合学習中の小学5年生



ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube

助成先の皆さまからの声をご紹介します

「ひこばえ」第6集の編集にあたり、助成先の皆さまが考える「公益信託武蔵野銀行みどりの基金」の特長を挙げていただいたほか、期待・応援のメッセージを寄せていただきましたので紹介します。皆さまの声を励みに基金を通じた取組みの一層の充実を目指してまいります。

助成先の皆さまが考える「武蔵野銀行みどりの基金」の特長

- 地元の銀行が運営する県内に特化した基金である。
- 歴史ある基金であり信頼感がある。
- 基金の理念や目的が共感しやすい。
- 対象となる事業費目が広い。

「武蔵野銀行みどりの基金」への期待・応援メッセージ

- 基金は、私たちの地域活動の目に見えない後ろ盾になっています。
- 小さな団体にも助成しており、活動内容をしっかりみていますと感じます。
- 基金の支援もあり、メンバーは生きがいを感じながら活動を行っています。
- 活動団体同士の情報交換の場となるような役割にも期待しています。

サステナブルな地域社会に向けて ～武蔵野銀行の取組み～

武蔵野銀行では「SDGs宣言」のもと、サステナブルな地域経済・社会づくりに向け、自ら取組んでいるのは勿論ですが、地域の皆さまとの連携・協働や事業者の皆さまへの働きかけなどにも注力しています。

特に、経済や社会の基盤となる環境への対応については、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」提言への賛同およびそれに基づく開示充実を進めているほか、当行独自に制定した「環境方針」のもと、実効性の高い取組みを目指しています。

武蔵野銀行SDGs宣言
(2019年3月制定)



TCFD提言への賛同
(2021年9月表明)



生物多様性への取組み

生物多様性を高める植栽を行うなど、環境に配慮した店舗・拠点づくりに取組んでいます。本店ビルの「武蔵野の森」では、関東在来の低木類や荒川流域の雑木林からの山採りの植物による植栽を行い、金融機関の本店として初めて「JHEP」*認証を取得しました。

JHEP:生物多様性を高める事業を評価する
公益財団法人日本生態系協会の認証制度



本店ビルの「武蔵野の森」

気候変動への取組み

本業である融資やコンサルティングを通じて、事業者の皆さまの脱炭素化の促進など、持続可能な企業行動への働きかけを行っています。

また、温室効果ガス排出量削減など、TCFD提言を踏まえた取組みを強化するとともに、情報開示の充実に努めています。

サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指しています。



従業員への環境教育

当行では、従業員一人ひとりがサステナブルな地域社会の担い手であるとの認識のもと、積極的な環境教育を行っています。

2022年に開講した「ぶぎん環境カレッジ」では、独自のカリキュラムのもと、専門家による講義やフィールドワークを通じて、県内の環境保全に貢献しうる人材の育成を目指しています。

また、新入行員研修では、荒川河川敷で外来植物駆除活動を実施し、地域における生物多様性の重要性を体感できる機会を設けています。



ぶぎん環境カレッジの
フィールドワーク



新入行員の外来植物駆除活動

地域創生スペース 「M's SQUARE」での情報発信

本店ビル2階の地域創生スペース「M's SQUARE」では、SDGsや埼玉の河川などをテーマとした展示やセミナーを行っています。こうした取組みを積み重ねていくことで、サステナブルな地域社会の実現に向けた情報の発信拠点となることを目指しています。



埼玉県と連携したSDGsパネル展



みんなで知ろう埼玉の川「知るリバ」

ひこばえ

(第6集)

公益信託武蔵野銀行みどりの基金 創設30周年記念誌

2023年3月発行

編集・発行 株式会社武蔵野銀行

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-8 TEL:048-641-6111(代表)

URL:https://musashinobank.co.jp





リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

